



廃棄物管理：課題と機会

ハビタット・プログラム・マネージャー (ベトナム)

Dr. ヌエン・クアン

2009年10月28日 福岡

固形廃棄物の現状

- MOCによると、国内都市の廃棄物の80%が回収、リサイクル・再利用可能物の再生率は23%。
- 世界銀行の国内95都市に関する調査では、全都市で回収率は71%に満たず、一部の小都市ではさらに低く10~20%。
- ベトナムのほとんどの都市の固形廃棄物は、埋立地に廃棄される。
- 埋立地のうち、地下埋立地は15%、その他は野外ゴミ捨て場
- MOCの2010年の目標: 固形廃棄物の90%を回収、処理

固形廃棄物の現状

- 固形廃棄物管理の運営は公益事業会社 (都市環境会社 -URENCO)が行う
- PPCは承認された年間事業計画に基づく予算に関して責任がある。
- サービスの質が助成予算額見合わないことが多く、課題は適切なサービスの維持・向上と拡大である。
- 特に細い裏通りなどの、廃棄物回収や運搬を担うのは民間企業や共同組合などである。

固形廃棄物の現状

- 危険廃棄物の一部は生活、産業、農業廃棄物といった他の種類の廃棄物と混在している。
- ベトナムで危険廃棄物の回収、処理、処分ビジネスに投資している企業には大きな成長の可能性がある。



Info Box 1.2 Percentage of household in Urban Areas by methods of garbage disposal (WB 2006)

| Location | Garbage truck | Burning | Burying | Throwing to river | Throwing to animal closure | Other |
|--------------|---------------|-------------|-------------|-------------------|----------------------------|-------------|
| Rural | 6.8 | 63.0 | 23.0 | 15.0 | 16.7 | 18.9 |
| Urban | 71.0 | 20.0 | 7.5 | 6.3 | 4.1 | 2.8 |
| Total | 21.9 | 52.9 | 19.4 | 12.4 | 13.7 | 15.1 |

主な解決方法

- 持続可能な都市インフラの開発のための政策:
 - 低所得者グループにとって手頃な値段であること
 - 官民のパートナーシップによること
 - 適切なテクノロジーによること
 - 気候変動問題に対する配慮があること
- 適切な法律と規制の枠組みをつくる
- 資金: 個人投資家にとって好条件の投資環境やインセンティブをつくる
- 制度や組織的仕組みの確立とそのための能力開発を行う

例 2 . 4 廃棄物に対する関心：有機廃棄物戦略をまねる

アジアの町の廃棄物は大半が有機廃棄物であるが、国連アジア太平洋経済社会委員会 (UNESCAP) は、コミュニティーを基盤としたコンポスト施設の建設によって、収益性のある廃棄物再利用を目指していた。このアプローチは、バングラディッシュで開始され、スリランカ、ベトナムのクニヨンでも実施されている。

クニヨンでは、UNESCAP は、NGO の「Enda Viet Nam」やこのプロジェクトのために無償で土地を提供してくれた地元行政と一緒に事業を行った。当初プロジェクト・コーディネーターは、廃棄物削減とリサイクル可能な物を分けることについてコミュニティーの人々を教育した。日々の個別訪問の有機廃棄物収集を組織した。有機廃棄物が収集されると、このプロジェクトで建設された、一日 2~3トンの処理が可能なコミュニティーの工場に輸送された。

施設は、完了以来少額であるがずっと収益を上げている。工場は現在毎月 US \$ 1,130 の収益を出している。このうち、US\$750 が収集費で、各家庭は毎月 US\$0.06 を費用として支払っている。残りの収益は、有機肥料の販売から得ている (毎月約 US\$340)。施設運営費は US\$972 で、このため収益が少なくなっている (約 US\$15)。工場の有機肥料を作る能力が収益に影響する。現在の購入者数は多く、有機肥料がよいことは認知されているが、有機肥料の市場価格はまだ低い。